

## 周辺環境モニタリング結果（令和 3 年度）

## ○北九州 PCB 処理事業所（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準等 （参考）
大気	PCB	0.00025 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下*1
	ダイオキシン類	0.14 pg-TEQ/ $\text{m}^3$	0.6 pg-TEQ/ $\text{m}^3$ 以下
	ベンゼン	0.0061 $\text{mg}/\text{m}^3$	0.012 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下*2
水質 (海水)	PCB	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )	検出されないこと (<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )
	ダイオキシン類	0.20 pg-TEQ/ $\text{l}$	1 pg-TEQ/ $\text{l}$ 以下
地下水	PCB	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )	検出されないこと (<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )
	ダイオキシン類	0.046 pg-TEQ/ $\text{l}$	1pg-TEQ/ $\text{l}$ 以下
土壌	PCB(溶出試験)	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )	検出されないこと (<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )
	ダイオキシン類	2.1 pg-TEQ/ $\text{g-dry}$	1000 pg-TEQ/ $\text{g-dry}$ 以下
底質	PCB (溶出試験)	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{l}$ )	—
	(成分試験)	不検出(<0.05 $\text{mg}/\text{kg-dry}$ )	10 $\text{mg}/\text{kg-dry}$ 未満
	ダイオキシン類	10 pg-TEQ/ $\text{g-dry}$	150pg-TEQ/ $\text{g-dry}$ 以下
生物*3	PCB	12 $\mu\text{g}/\text{kg-wet}$	—
	ダイオキシン類	0.50 pg-TEQ/ $\text{g-wet}$	—

(注) \*1：環境庁大気保全局長通達(昭和 47 年 12 月 22 日付環大企気 141 号)より。

\*2：工業専用地域については、環境基準は設定されていないため北九州 PCB 産業廃棄物処理施設(1 期)に係る生活環境影響調査の結果により、当社が環境保全目標値として定めた値。

\*3：カメノテ

## ○豊田 PCB 処理事業所（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準等 （参考）
大気	PCB	0.0088 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	ダイオキシン類	0.017pg-TEQ/ $\text{m}^3$	0.6pg-TEQ/ $\text{m}^3$ 以下
	ベンゼン	0.0006 $\text{mg}/\text{m}^3$	0.003 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下
土壌	PCB	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{L}$ )	検出されないこと (<0.0005 $\text{mg}/\text{L}$ )
	ダイオキシン類	2.1pg-TEQ/ $\text{g}$	1,000pg-TEQ/ $\text{g}$ 以下
地下水	PCB	不検出(<0.0005 $\text{mg}/\text{L}$ )	検出されないこと (<0.0005 $\text{mg}/\text{L}$ )以下
	ダイオキシン類	0.064pg-TEQ/ $\text{L}$	1pg-TEQ/ $\text{L}$ 以下

○東京 PCB 処理事業所（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準等（参考）
大気*2 (敷地境界)	P C B	南東端 0.00005 mg/m <sup>3</sup> 未満	0.0005mg/m <sup>3</sup> 以下 *1
		北西端 0.00005 mg/m <sup>3</sup> 未満	
	ダイオキシン類	南東端 0.26 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	年平均 0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
		北西端 0.51 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	

\*1 環境庁大気保全局長通達(昭和 47 年 12 月 22 日付環大企 141 号)より。

\*2 環境保全協定書における測定頻度は年 1 回。現在自主測定として 4 回実施している。

○大阪 PCB 処理事業所（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

	項 目	結果（期間中の最大値）	環境基準等（参考）
大気	P C B	事業所敷地内 0.00000044mg/m <sup>3</sup>	0.0005 mg/m <sup>3</sup> 以下
		事業所周辺 * 0.00000039 mg/m <sup>3</sup>	
	ダイオキシン類	事業所敷地内 0.015pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
		事業所周辺 * 0.016pg-TEQ/m <sup>3</sup>	
	ベンゼン	事業所敷地内 0.0010mg/Nm <sup>3</sup>	0.003 mg/Nm <sup>3</sup> 以下
		事業所周辺 * 0.00097mg/Nm <sup>3</sup>	

\*：事業所南側に位置する大阪ガス舞洲営業技術センター敷地内。事業所周辺 \*

○北海道 PCB 処理事業所（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準等（参考）
大気	P C B	敷地境界東側南端 130pg/m <sup>3</sup>	500,000pg/m <sup>3</sup> 以下
		処理情報センター 120pg/m <sup>3</sup>	
	ダイオキシン類	敷地境界東側南端 0.0057 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
		処理情報センター 0.0046 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	
	ベンゼン	敷地境界東側南端 2.2 μg/m <sup>3</sup>	3μg/m <sup>3</sup> 以下
		処理情報センター 2.0 μg/m <sup>3</sup>	
水質	P C B	雨水幹線排水路合流前 960 pg/l	500,000pg/ l
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路合流前 0.061 pg -TEQ/l	1pg-TEQ/l 以下
底質	P C B	雨水幹線排水路上流 27,000 pg/g	10,000,000pg/g
		雨水幹線排水路下流 24,000pg/g	
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路上流 4.1 pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g 以下
		雨水幹線排水路下流 4.0 pg-TEQ/g	